

 菊川市議会だより

議会のひろば

2026.5.21 No.86

今月の
特集

議会報告会・こども議会を
開催します

特集	P01
2月定例会概要	P03
代表質問	P06
一般質問	P09
みんなの声	P14
きかせてパパママの声他	P15



菊川中央公園茶畑

菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから





菊川から座あ

菊川市議会では毎年議会報告会を開催しています。
本年度も全体会(休日開催)と各11地区(平日開催)にて
開催予定です。ぜひお気軽にお越しください。

全体会
市役所東館
きくる開催
(3階にて)

7/4(土) 13:30 ~ 15:00

※託児、手話通訳有。託児をご希望の方は事前に議会事務局までご連絡ください。

各地区の開催日程

報告会	日程	時間	会場
西方	6/10(水)	19:00~20:30	西方地区センター
小笠南	6/11(木)		みなみやま会館
平川	6/15(月)		ひらかわ会館
河城	6/18(木)		河城地区センター
横地	6/22(月)		横地地区センター
内田	6/23(火)		内田地区センター
町部	6/24(水)		町部地区センター
六郷	6/25(木)		六郷地区センター
小笠東	6/29(月)		くすりん
加茂	7 / 1(水)		加茂地区センター
嶺田	7 / 2(木)		みねだ会館

報告会の内容

- 菊川市議会の概要
 - 予算・決算審査結果
 - 委員会活動報告
 - 意見交換
- など

ご参加いただいた皆様に、菊川市議会オリジナル「きくのんクリアファイル」をプレゼント致します。



お問い合わせ
菊川市議会事務局 Email : gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp

TEL:0537-35-0941 FAX:0537-35-2116



キミが
議員
だったら？

どんな
まちに
したい？



わたしたちの
まちを
調べてみよう！



菊川市

こども議会

こども議員募集!!

議場で
発表
してみよう！

募集期間

5/18(月)

～6/26(金)



対象

市内在住の
小学5年生から中学3年生

定員

15名
※応募数によって実施主体による選考となる場合があります。

申込
方法

- ・申込書の提出(郵送・FAX・メール)
- ・電話
- ・下記QRコードから申し込み

開催日時

- 第1回 7/27(月) オリエンテーション
- 第2回 7/30(木) 調査、資料収集
- 第3回 8/4(火) 調査、提言書作成
- 第4回 8/7(金) 提言書作成
- 第5回 8/17(月) こども議会(提言書発表)

※活動時間は全日程9:00～12:00の予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
都合や体調不良での欠席は可能です。

お問い合わせ・お申し込み 菊川市議会事務局

〒439-8650 菊川市堀之内61 TEL: 0537-35-0941 FAX: 0537-35-2116
メール: gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp

申し込みは
こちら→



詳しくは
こちら→



請願

1件



議案 41件



諮問

1件



概要

会期 46日間 令和8年2月10日～3月27日
2月定例会 審議結果

賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結果	本田 高一	黒田 茂	松永 晴香	白松 光好	奥野 寿夫	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	須藤 有紀	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修	赤堀 博	
議案第4号	菊川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第19号	令和8年度菊川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第20号	令和8年度菊川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	令和8年度菊川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第26号	令和8年度菊川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第40号	菊川市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願 8-1	浜岡原子力発電所3号機及び4号機の新規制基準適合性審査請求の取り下げに関する請願書	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	—	

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(赤堀 博)は採決に加わらない。
 すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

2月定例会の会期中に開催された委員会では、下記のとおり事前質疑が提出されました。

	頁数	総務建設委員会								教育福祉委員会								
		黒田 茂	白松 光好	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	赤堀 博	本田 高一	松永 晴香	奥野 寿夫	須藤 有紀	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修
議案第13号 令和7年度菊川市一般会計補正予算(第6号)	472	14	14	18	15	17	8	13	—	25	18	9	23	26	0	5	10	5
総務建設委員会付託議案(議案第5、23、25、26、34号)	98	9	3	0	4	6	0	7	—	0	—	—	4	4	—	—	—	—
教育福祉委員会付託議案(議案第20、21、22、24号)	147	—	—	—	8	—	—	—	—	—	0	1	17	11	0	1	16	0
議案第19号 令和8年度菊川市一般会計予算	971	60	14	27	28	53	14	26	—	21	26	30	51	59	0	11	23	37
合計		83	31	45	55	76	22	46	—	46	44	40	95	100	0	17	49	42

※織部ひとみ議員は監査委員のため、委員会・分科会への質疑は控えています。

委員会・分科会への
 事前質疑提出状況

令和8年度 菊川市各会計当初予算額

(単位：千円)

会計名	当初予算額	前年度との比較
一般会計	23,598,000	△ 973,000
国民健康保険特別会計	4,371,530	15,255
後期高齢者医療特別会計	773,422	76,306
介護保険特別会計	4,101,816	190,352
土地取得特別会計	107	58
病院事業会計	7,448,138	9,285
水道事業会計	2,178,991	189,811
下水道事業会計	2,266,114	551,841
総合計	44,738,118	59,908

令和8年度の各会計の予算案が市長から議会に提出されました。令和8年3月9日、10日、11日に一般会計予算決算委員会及び総務建設・教育福祉委員会にて審査し、26日の本会議において、すべての予算案が原案どおり可決されました。

令和8年度予算
 税金の使い道をチェック

◎ 水道料金軽減事業の概要は。

① 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けた生活者等に対して、水道料金基本料の減免等を実施する。対象者は、国・県・市を除く市民等で、菊川市からの受水者1万9983件に対して基本料金を減免する予定である。減免または補助金の金額は、3期6か月分の水道料金基本料分となる。

〈執行部回答後の議員意見〉

これから水道料金はどんどん上がっていくと思うので、市としては交付金を適切に活用してほしい。また、このような交付金をしっかりとらえるように国へ要望をしてもらいたい。

交付金を水道料金に充ててくれたということはとてもありがたいし、市民全員に行き渡る対策なので良いと思った。



◎ 給食運営費について、地産地消の取組をする予定があるか。また、地産地消の取組で支出が軽減されるか。

① こどもたちに地域のもので楽しんでいただきたいという思いで、地産地消に取り組んでいる。毎月1回のふるさと給食の日と、年3回のふるさと給食週間に集中して地産地消をふんだんに盛り込めるように努めている。令和7年度は、ベルファームのトマトピューレ、アスパラガスを使用した。地産地消率は、令和6年度の39.99%に対し、本年度は36.78%と約3ポイント下がっている。地元の法人との取引を増やしていくため、事業者説明会等を開催している。地元法人との連携では運送料等も比較的安くなるため、このような取組を進めていきたい。

〈執行部回答後の議員意見〉

地産地消は、農業を援助する意味もある。行政全体が重層的な考え方を持たないといけない。

袋井市が学校給食先進地で地産地消の積極的な取組が評価されて

いる。近隣市で好事例があるので、学ぶべきことは多いのではないかと。

施政方針のなかでオーガニック・ビレッジ宣言に向けた取組がある。この取組のなかで学校給食での有機野菜や地元野菜の利用が進んでいくのではないかと。

◎ 利用者の利便性を考慮し、プレミアム付商品券の無償配布及び使用先の拡大はできないか。

① 「コロナ禍以降、国などで多くの施策、支援策が実施され、子育て世帯や非課税世帯などには何度も現金給付がされており、今回も子育て応援給付金として、高校生までの子ども1人につき2万円が支給されている。一方で、働く单身世帯を対象とした支援策は限られているため、今回は单身世帯へも支援効果が行き届く形として、令和4年度と同様に、紙の商品券を販売する。実施方法については、今回、近隣各市において様々な方法で実施される予定であり、それぞれの方法の良い点や、悪い点を分析したいと考えている。また、商品券の使用先については、市内での消費を促し、物価高騰で厳しい状況にある市内事業者の支援につなげるため、市内店舗に限定する計画である。

〈執行部回答後の議員意見〉

プレミアム付商品券は、消費者にはお得感があり、事業者からは日頃より売り上げが伸びたという声もあるので、とても良い事業だと思ふ。



◎ 精神保健事業費について、ゲートキーパー養成講座の受講終了後の活躍の場をどのように支援していくか。

A ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことである。養成講座では、身近な人の変化に気づいたときの声のかけ方、話の聞き方などをロールプレイや動画視聴を通して学び、終了時にゲートキーパー手帳を渡している。講座で学んだことを普段の生活の中で活かしていただき「気づき・つなげる・見守っていく」ことを目的としている。活動の場は普段の生活の場となるため、特別に場を設けることはないが、身近で悩んでいる人への的確な対応ができる人を増やすため周知・啓発をしている。3月は「自殺対策強化月間」で周知・啓発を強化している。相談機関や相談先は、福祉課の「きくがわこころの健康相談」、静岡県内の「精神保健福祉総合相談」、24時間子供SOSダイヤル、また気軽に相談できるよう二次元コードを読み取るLINE相談などもある。相談窓口の一覧表は、ホームページへの掲載や配架もしている。

〈執行部回答後の議員意見〉
自殺者の数は横ばいということだが、ゲートキーパーの交流会を通じて啓発を進めていっていただきたい。養成講座を受けられた方で、時間がたつと内容をどんどん忘れてしまうという意見を聞いており、たくさん交流の機会を設けていただきたい。また、行政だけではなく民間との連携など広く啓発活動をしてほしい。



出典：厚生労働省ホームページ 「まもろうよ こころ」
(<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>)

代表質問

一般質問



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和8年2月定例会の会議録は準備出来次第となります)



代表質問とは？

2月定例会において、施政方針及び予算編成方針の内容や市長の考え方を会派の代表者が質問します。

質問会派：「菊川ゆめ未来」、「市民ネット」、「みどり21」

一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：11名

※ 議員名につづく()は、所属する会派または政党を示します。

表 新駅周辺まちづくり構想

代 本田 高一 (菊川ゆめ未来)



JR菊川駅南北自由通路の完成を見据え、令和8年度施政方針に位置付けられた駅北から国道1号方面への道路整備について、その役割や土地利用と一体となったまちづくりの考えを伺った。あわせて、南北自由通路完成を契機とした駅周辺のにぎわい創出について、イベント中心の現状評価とともに、日常的な滞在空間の必要性や若い世代の声の反映、常設的施設整備の可能性について市の見解を求めた。

第2次菊川市国土利用計画において自然・里山ゆったりゾーン、菊川市都市計画マスタープランでは、農業環境ゾーンや森林環境ゾーンに指定されており、住宅や商業、工業に活用する計画はない。

掛川市日坂地区などを含めた広域的な人の動線確保や、JR菊川駅周辺のにぎわいへの波及効果の認識は。

道路整備により周辺地域とのアクセス向上が図られ、広域的な人の流れの円滑化や駅周辺への波及効果が生じると認識している。

駅北から国道1号方面へ、防災・避難の観点から道路整備をどう位置付けるか。

現時点で具体的な計画はないが、国道1号への道路は令和8年度施政方針に初めて位置づけ、災害時の避難経路や地域の安全性向上の観点からも必要性を認識している。

新幹線北側に広がる未利用・荒地の活用をどう捉えるか。

新幹線北側の開発については、



駅北方面において、道路などの動線整備と、新幹線北側を含む土地利用を個別に進めるのではなく、道路と土地利用を一体的に進める構想の有無は。

東海道本線から新幹線までの約200ヘクタールを対象エリアとし、菊川駅北整備構想を策定している。新幹線北側地域の土地利用構想はない。本市としては拡大志向ではなく、住居や福祉、商業などの施設を拠点に誘導し、拠点間を結びコンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づくまちづくりを進める方針である。

きくる広場における催しや夜店市など、イベント中心のにぎわい創出の現状をどう評価しているか。

本市は高校生など多様な主体による様々なイベントを開催しており、多くの来訪者呼び、市の魅力発信に大きく寄与していると認識している。日常的なにぎわいについては十分ではなく、駅周辺をより活気ある場としていく必要があると考えている。

通勤・通学者などが日常的に滞

在できる駅周辺施設の必要性をどう考えるか。

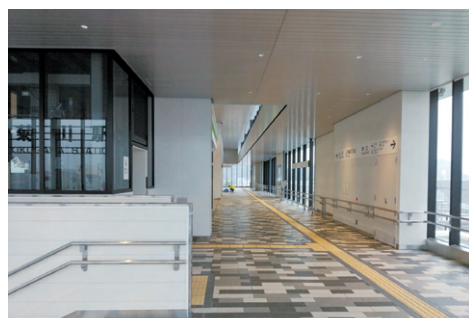
買い物や飲食など日常的に人が過ごせる施設は駅周辺において必要性は高いが、行政だけで実現することは難しく、民間活力の導入を促していく必要があると考えている。

若い世代からの「駅周辺で過ごせる場所が欲しい」という声をどう受け止めるか。

南北自由通路内や駅の南北広場にベンチを設置するとともに、駅北広場にキッチンカーが出店できるスペースを確保する計画である。

日常的なにぎわいを生む施設整備について検討する考えはあるか。

柔軟に対応していく。



動画はこちらから



表 菊川市のさらなる発展と跳躍の年

西下 敦基 (市民ネット)



会派市民ネットは、すべての市民が幸せで充実した暮らしができることを中心に活動し、市長に提出した提言書をもとに質問した。

Q 保育政策は重要である。保育士の確保や処遇改善などの対応は。

A 県内初となる取組として、近隣市町と連携して保育士等キャリアアップ研修を実施し、職員の給与改善や職員体制の充実につなげている。令和7年度で当初予定していた実施期間は終了するが、事業の必要性を検討し、来年度も研修を実施できるように準備を進めている。また、大学などの保育士を養成する施設を訪問し、市内幼保施設を紹介するとともに、保育士の業務負担軽減のためのICTシステム導入費用補助などの事業を継続していく。



Q コミュニティ・スクールの今後の展望は。

A 現在は、学舎を中心とした取組を進めているが、今後の児童数減少を見据え、各学校の特色や独自性を活かした活動についても一層推進し、学校と地域が一体となって、こどもの学びの充実や豊かな成長を後押しする・支援する地域づくりを進めていく。

Q 原子力災害時の避難について、近隣市・県・国が連携し避難時の交通課題箇所の把握と対策は。また、全市民の即時避難は困難であり、体育館などで使用可能な原子力防護テントの配備についての見解は。

A 交通課題箇所の把握と対策について、未整備区間の幅員の狭小部分があることが避難時の交通課題になると捉えており、国や県へ原子力防災対策強化に重要なインフラ整備・強靱化の推進に向けて、事業の早期実現を強く要請している。原子力防護テントについては、国などの補助制度

や運用面も含め、導入に向けた検討を進めていく。

Q 働く方の環境整備及び地域産業の持続的な活性化を図ることについて伺う。

A 熱中症対策を含め職場環境の改善は、従業員の健康増進や生産性向上などにつながるものと考えている。国や県、支援機関が実施する支援施策やセミナーの開催情報などを情報発信し、事業者の職場環境改善が推進されるよう取り組んでいく。

また、中小企業等奨学金返還支援事業費補助制度を多くの企業に活用していただき、企業の採用力強化を図るとともに、小笠地区雇用対策協議会や中東遠地域障害者就労支援事業運営協議会などと連携することで、インターンシップの受入支援や、障がいのある方の就労支援など、年齢やライフスタイルなどに応じたきめ細やかな就労支援を実施し、企業の雇用対策、地域住民の就労支援の両面から地域産業の活性化を図っていく。

Q 物価高が続き、米の価格も去年と比べて倍となるなど、市民の生活

が厳しくなっており、対策の方針を伺う。

A 国からの重点支援地方交付金を活用し、生活者支援では住民税非課税世帯へ1世帯1万円を支給するくらし応援給付金の実施、プレミアム付商品券の発行、水道料金の基本料金のうち3期6か月分の減免、中学生の保護者が負担する学校給食費の物価高騰分の支援などを実施していく。事業者支援事業としては、物価高騰の影響を受けた障害福祉サービス事業所などへの継続支援などを実施していく。また、小学生の給食費については、国の負担軽減分を超える残りの保護者負担分を市が全額支援し、完全無償化を実現する。



動画は
こちらから



代表 施政方針の取組について

山下 修 (みどり21)



少子高齢化・人口減少、物価高騰など、課題が山積するなかで始まる、持続可能なまちを目指した令和8年度の市政運営について質問した。

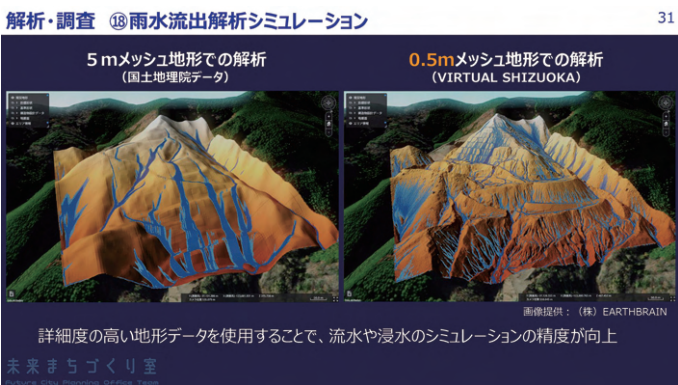
Q 本年度からスタートする第3次総合計画に取り組む基本姿勢と意気込みは。

A 前計画を総括し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、市民の健康維持と生活の質の向上を支える取組の強化、また、市南部地域の防災対策の強靱化を継続していくことなどを確認した。第3次総合計画では「人口減少」「安全安心」「多様性」「デジタル」「脱炭素」「SDGs」の6つの視点を位置づけ、次世代に引き継ぐべき環境や魅力を最大限に活かし、誰もが夢叶い、幸せが創り出せるまちの実現に向けて全力で取り組んでいく。

Q デジタル技術における点群データ活用地域課題解決事業の展望は。

A 職員の知識やデータ活用技術の

向上を進め、インフラの維持管理や、若者と仮想空間を可視化し、まちづくりなどに活用を発展させたいと考えている。昨年度、文化財保護・活用のため指定文化財などの点群データを取得しパソコン等で閲覧可能な三次元データを作成し公開している。将来的には、防災対策、公共交通といった分野にも活用を広げ、身近な課題解決につなげていく。



三次元点群データの活用
(出典：静岡県ホームページ)

Q 企業誘致に向けた小笠高校農場跡地活用と、市財政への効果は。

A 商工観光課にて公募要領の作成を進めている。このなかで、市の求める業種や用途などを絞り、産業振興や地域経済の活性化、雇用の創出につながる企業を誘致したいと考えている。市財政への効果として、固定資産税や法人市民税の増収のほか、企業で働く方々の移住による市民税の増収につながるものと考えている。

Q 子育て支援における、こどもでも通園制度とリフレッシュ・一時保育事業の違いと連携は。

A リフレッシュ・一時保育事業は、保護者の就労、通院、リフレッシュなどに対する支援、こども誰でも通園制度は、未就園児の家庭だけでは得られない経験やこども同士のかかわりの機会の創出を目的としている。両事業を併用することもでき、利用者の目的に沿ったサービスを提供する。

Q 地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携は。

A 菊川市における主な取組は、菊川市立総合病院との連携として、

医療・介護専門職向けの「在宅医療・介護連携支援窓口」を病院内に設置している。また、市内の医療・介護専門職との連携支援として、顔の見える関係づくりや多職種協働を目的とした「きくがわ在宅医療・介護連携多職種研修会」を毎年開催している。菊川市立総合病院では、1病棟44病床をフルに使って地域包括ケア病棟の機能を提供していく。

Q 市民生活の安定と物価高騰対策は。

A エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた者に対しての支援として、県が幅広い分野の「事業者」向け支援をすることから、本市では「生活者」を重点的に支援する事業を実施していく。プレミアム付商品券については、前回の令和4年度では、アナログ形式で紙の商品券を使って実施し、市内世帯の約9割の方に購入していた。アナログとデジタルの併用は経費負担が大きく、比較検討の上で紙の商品券により実施する。





これからの自治会の在り方

坪井 仲治 (みどり 21)

動画は
こちらから



自治会の運営等について、菊川市の施策や考え方を質問した。

◎ 自治会長の平日昼間における役務について、行政側の対応としての今後の施策等は。

Ⓐ 令和4年11月に庁内ルールとして自治会の負担軽減に向けた取組方針を定めており、共通事項の一つには、自治会長は仕事をしていることを前提に、会議の開催日時等について配慮するとして取り組んでいる。また、自治会から報告などをお願いする場合にも、直接自治会長が来庁する負担を軽減するため、基本的にはメールやファクスで回答いただけるよう対応している。

◎ 業務の軽減を目指した自治会活動におけるデジタル化策は。

Ⓐ 電子媒体による広報紙、回覧物などのホームページへの掲載、LINEなどのSNSやテレビのデータ放送など、情報提供のデジタル化を進める。



◎ マンション自体が単位自治会となった場合の問題点は。

Ⓐ マンションの管理組合は、建物の維持管理を主な目的とする組織であり、地域全体の防災、防犯、福祉などを担う自治会とは役割が異なる。マンション単位での自治会の設立は可能ではあると思うが、現在の自治会内でごみの収集や防災・安全等に関する事項の協議をする必要がある。



学校と家庭の協働を持続可能に

松永 晴香 (みどり 21)

動画は
こちらから



学校と家庭の協働を持続可能にするため、PTAや家庭教育学級の負担、学校間の差、教職員への影響を整理し、相談体制や負担軽減、運営改善をし、持続可能な活動に向けての環境整備について質問した。

◎ PTAの運営方法や活動量、学校の関わり方には、学校間での差がある。教育委員会として、学校間の差を認識しているのか伺う。

Ⓐ PTA活動については、任意団体の活動であり、運営や活動内容は、各PTAの自主性・主体性に基づいて決定されている。このため、市教育委員会が活動内容の把握や運営方法、負担の在り方などについて、指導や介入を行う立場にはなく、質問に答えることはできない。一方、学校においては、保護者との良好な協力関係の下で教育活動を進めることが重要である。市教育委員会としては、引き続き校長会に対して、PTA活動が保護者と教職員に過度な負担となら

ないよう、配慮することを働きかけていく。

◎ 家庭教育学級の回数を減らすことはできるか。過去実施された家庭教育学級の実施報告書やアンケートの結果を活用しているのか。

Ⓐ 菊川市家庭教育学級事業事務取扱要領で1年に6回以上と定められているものを4回で調整していく。アンケートの結果では、活動の回数、準備の負担、講師選定の難しさなどが明らかになった。今後は実施回数の見直しや事業内容の見直しにより、保護者が活動しやすいよりよい運営方法へしていきたいと考えている。



一般



地球温暖化に対する対応

白松 光好 (みどり 21)

動画は
こちらから



地球温暖化への対応について菊川市の取組の現状を質問した。

◎ 第3次菊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）・菊川市気候変動適応計画に則った具体的な対応は。

◎ 地球温暖化対策として家庭用太陽光発電設備や蓄電池の設置などに補助金を交付している。

◎ 同計画中の緩和策「地球環境の整備・吸収源対策」でのバイオ炭などの対策の現状は。

◎ ふじのくにフロンティア地域循環共生圏形成事業の一環として、倉沢地区の荒廃茶園で伐根茶樹の炭を土壌改良剤として農地に活用し、酸性土壌を中和し、レモンへの栽培転換を行っている。この実証実験により、約16・5トンの炭素貯留につながった。

◎ 同計画中の緩和策「循環型社会の形成」で食品残渣をバイオマス発電で活用するリサイクルの現状は。



株式会社八ヶ代造園（袋井市）の早生樹ユーカリ圃場

◎ 現在西方地区の鈴与菊川バイオガスプラントでは学校給食センター、市立総合病院、民間企業から排出される食品残渣を受け入れ発電をしている。発生したエネルギーや二酸化炭素は隣接するハウスのトマトやアスパラガスの生育に役立て、栽培した作物は学校給食に提供されている。

◎ 森林の二酸化炭素吸収量を増やすには森林整備計画に早生樹を明記する必要があるが菊川市の見解は。

◎ 静岡県が定める天竜地域森林計画には早生樹の記載は無いが、早生樹を加えることも検討の一つとして、引き続き情報収集に努める。

一般



私のこれからノートについて

東 和子 (みどり 21)

動画は
こちらから



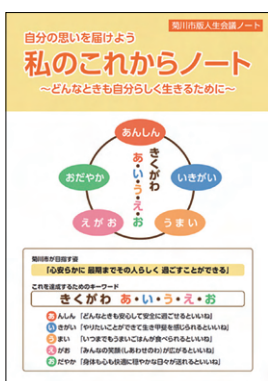
厚生労働省が平成30年3月に公表した人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の報告では「人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から患者・家族に適切な情報の提供と説明がなされた上で、本人による意思決定を基本として行われることが重要である」と記載されている。

◎ 第3次菊川市総合計画では「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、元気に安心していきいきと暮らし続けることができよう、健康づくり事業や介護予防事業への参加を促進します」と記載されている。

◎ 時代とともに社会情勢の変化に合わせて「私のこれからノート」の役割がさらに高まると考えるが、今後の対応は。

◎ 「私のこれからノート」は、医師や歯科医師、薬剤師、リハビリ専門職、看護師、ケアマネジャーなどの協働により、現場で働く方々の意見を反映して作成した。高齢化と核家族化

が進行するなか、自分自身が大切にしたいことや希望する医療・介護について、家族、医療・介護チームと事前に話し合い、共有することの重要性も増していく。中身を埋めることが目的ではなく、家族など大切な人と話し合うためのきっかけづくりと捉えている。今後も社会情勢を踏まえ、専門職の意見や市民の声を聞きながら掲載内容を検討するとともに、「私のこれからノート」を活用するきっかけづくりとして、本年度作成した概要版で広く周知することに加え、体験会や相談窓口で意義を伝えながら配布するなどの周知啓発に取り組んでいく。





バイクレスキュー隊の必要性は

藤原 万起子 (市民ネット)

動画は
こちらから



南海トラフ巨大地震など大規模災害時、広域的な停電や通信インフラの寸断が想定される。発災直後の数時間から数日間に、正確な情報を収集し、災害対策本部へ集約できるかは重要な課題である。

を防ぐため、バイクレスキューの機動力や独立した無線通信の活用が有効である。危機管理部と直接連携体制を構築し、情報共有する仕組みの制度化、また行政との正式な協定締結について伺う。

◎ 本市の課題として、災害発生時、急激な状況変化への体制移行や人員確保、長期化による人員配置などについて課題があるとの答弁があったが、こうした課題に対し、現在の体制で十分に対応可能か伺う。

◎ バイクレスキューは、交通機能が麻痺した状況下での機動性・迅速性の有用性が認められており、救援活動支援や情報収集、物資搬送などが期待される。今後は関係者と連携方法や役割分担を整理し、協定締結に向けて検討を進める。

◎ 災害時は職員安否メールで人員確保に努めるが、大規模災害では不足が懸念されるため、広域受援計画に基づき自治体からの応援受入体制を整備している。能登半島地震の教訓を踏まえ、トラック協会や地元企業と連携し、物資搬送の混乱防止に向けた訓練を実施した。今後も受援体制の強化を進める。

◎ 他に「職員の離職防止と市民サービス維持に向けた負担軽減・適正配置の取組」について質問しました。

◎ 災害時の「情報の空白」



バイクレスキュー：イメージ



中電の不正行為をどう考えるか

奥野 寿夫 (日本共産党)

動画は
こちらから



浜岡原子力発電所の再稼働適合性審査における中部電力の不正行為について質問した。

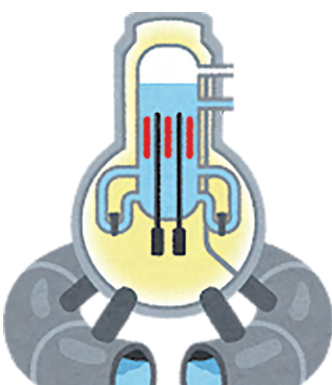
◎ 中部電力は原子力事業者としての適格性を欠いており、申請を取り下げ、浜岡原発の再稼働を断念すべきと思うが、市長の考えを伺う。

◎ 今回の事案は、中部電力が積み上げてきた地域への信頼関係を根幹から揺るがすものである。さらに、組織に対する信用も地に落ち、極めて遺憾である。原子力規制委員会から中部電力に対して報告徴収命令を発出しており、原子力規制検査を実施し、事実確認を行っている。中部電力は第三者委員会を立ち上げ、事実関係の検証や原因の調査などが実施されている。こうした状況のなか、私が再稼働に対して見解を述べる段階ではない。

◎ 使用済み核燃料が保管されている燃料プールのある原子炉建屋の耐震性は大丈夫か伺う。

◎ 浜岡原発は、建設当初から余裕を持たせた耐震設計を実施するとともに、その後も耐震性を高める工事を実施し、常に最新の知見を反映し、安全の向上に取り組んでおり、構造上問題はなく、燃料プールに保管されている使用済燃料は約15年経過しており、十分に冷却されていることや平常時には複数の常設設備によって水位を維持し、大規模な地震など、万が一常設設備が使用できなくなった場合にも可搬式動力ポンプを使って注水することで水位の維持ができる」と公表されている。

◎ 「リニア中央新幹線工事による水問題」について質問しました。



一般



インボイス制度の経過措置終了

渡辺 修 (みどり 21)

動画は
こちらから



インボイス制度の経過措置終了を見据えた市内中小事業者への影響、法人税と違い赤字でも納税が発生する消費税の市内事業者への影響に関して質問した。

Q インボイス制度の導入及び経過措置の段階的終了が、市内中小事業者に与える影響を市はどう認識しているか。

A 制度開始後6年間は免税事業者からの課税仕入れにも一定割合を仕入税額として控除できるが、令和11年10月1日以降は控除できなくなるため、インボイス発行事業者でない事業者からの仕入れが敬遠されるのが予想される。

Q 特例縮小や2割特例終了により、消費税納税額の増加が見込まれる事業者の実態を市は把握しているか。

A 消費税は事業者が直接税務署へ申告するものであり、市では納税額に関する情報を保有していないため、影響の実態把握はできない。

Q 納税資金の確保に苦慮する小規模事業者への相談体制や支援策は。

A インボイス制度への対応に限らず、根本的な経営基盤強化が重要であり、産業支援センターでの専門家による経営相談や補助金活用相談を実施し、商工会などと連携しながら引き続き支援していく。

他に「気候変動下における農業用水の実態と多面的機能交付金の在り方」について質問しました。



一般



菊川市立総合病院の運営

黒田 茂 (菊川ゆめ未来)

動画は
こちらから



菊川市立総合病院は一般会計から多額の予算を繰り入れていますが、なお赤字が続く極めて危機的な状態にある。分娩休止など個別の対策は講じているが、経営の抜本的改善には至らず、人件費、材料費、光熱費の高騰など構造的な問題が重圧となっている。市の財政にも限界があるなか、将来的に地域医療の崩壊に繋がりがねない状況を踏まえ、病院の位置づけや将来像を明らかにし、経営改善策、広域医療連携、病院機能の在り方に対する市の見解について質問した。

Q 令和8年度に向けた具体的な経営改善策を伺う。

A 内科と整形外科を中心に基盤強化を図ることに加え、費用削減、病棟機能の再編による高齢者患者の積極的受入れ等、経営改善を図っていく。

Q 受診者負担増につながる診療報酬改定での赤字圧縮額を伺う。

A 試算では3億円の赤字改善

を望んでいるが、まだ1億円以上の赤字が出るのではないかと考えている。

Q 病院の経営責任者及び企業長は市長か病院長のどちらか伺う。

A 病院管理者は市長である。

Q 病院収入を伸ばす為に自由診療の人間ドック受診者を増やす計画があるか伺う。

A 現状の体制で最大限受入れ拡大する方針であるが、健診センターを大きくする計画は現在ない。

Q 病院の方向性は中東遠総合医療センターを中心核としたサテライト病院化、自立運営継続、他病院へ運営移譲のうち適切な選択を伺う。

A 今のところ自立運営である。

他に「市内祭典を観光資源にするために」について質問しました。





都市公園の活用について

石井 祐太 (市政の見える化党)

動画は
こちらから



市民アンケートでは、1日
過ごせる公園や複合遊具など
を求める声が多く、現在の公園
配置や整備の在り方に課題が
あると考え質問した。

◎ 市内の公園配置や遊具整
備について、見直しを検討す
る必要性があると認識してい
るか伺う。

◎ 計画的な維持管理に努め
ているが、一部計画通り進んで
いない現状があり、見直しの検
討が必要であると考えている。

◎ 大型公園へ機能を集約し
重点的に整備する考え方に
ついて、市の見解を伺う。

◎ 公園の規模や立地に応じた
役割を踏まえた整備を進めて
きた。今ある公園が快適に利用
できるよう維持管理していく。

◎ 和田公園プールの管理費
と利用実態をどのように評価
し、今後どのように位置づけ
ていくのか伺う。

◎ 利用状況や管理費を踏ま
え、老朽化への対応も含め今

後の在り方を検討していく。

◎ 公園全体を俯瞰した施設
再編や予算配分について、ど
のように検討していくのか伺う。

◎ 関係課が連携し必要な予
算を確保し、適切に維持管理
していく。

◎ 交流人口創出を見据えた公
園活用について、市の考えを伺う。

◎ 公園の魅力向上を含め、優
良事例を調査・研究していく。

◎ 市民参加によるワーク
ショップなどを開催し利用者
の声を取り入れていくという
ことは検討できないか伺う。

◎ 市民の意見を聞くという
ことは重要だと捉えている、
提案も含め、意見を聞く機会
をつくっていききたい。

他に「電子
図書館」「公共
施設の予約」
について質問
しました。



人口減少問題について

須藤 有紀 (みどり 21)

動画は
こちらから



◎ 過去5年間の人口減少の
進行と昨年度489人減少し
た要因は。

◎ 死亡数の増加に加え、出生
数の減少が主な要因である。
転入・転出理由の多くが就職・
転職だが、市内企業の人手
不足に加え、賃金水準の高い
都市部への流出も社会動態に
影響していると分析している。
昨年度の人口が489人減の
要因は外国人の転入者数が
大幅に減少したことと考える。

◎ 令和7年版こども白書で
はライフデザインを学んだ方
が若者の結婚願望が高くなり、
理想の結婚年齢を24から29歳
と回答する割合が最も高くな
るといふ。学ぶ機会を設ける
考えは。

◎ ライフデザインを学ぶ機
会を設けることは重要な要素
の一つである。総合戦略の取
組に位置づけ、「中学生ふるさと
と未来塾」や「思春期健康教育」
などを実施している。

◎ 人生を俯瞰的に考えるラ
イフデザインの実施は。

◎ 中学校の教育課程で新た
なものを取り入れる余裕はな
いが、今実施しているキャリア
教育の内容充実が可能。校長
会等を通して菊川市教育委員
会から働きかけていく。

◎ ふるさと住民登録制度利
用の考えは。
◎ 積極的に取り組みたい。
同制度のモデル事業にも応募
した。

◎ 本制度では人手不足の企
業や農業現場のアルバイトも
地域活動の一つとしてカウント
できるといふ。民間との連携
について考えは。

◎ 民間事業者と連携するこ
とで人手不足のニーズを可視化
し、地域活性化や地域経済の
担い手確保に繋がる可能性が
あると認識している。モデル
事業を注視しつつ検討していく。



ふるさと未来塾 (出典：
菊川市公式 Facebook)



J R 東海と県の確認事項について

織部 光男（無所属）

動画は
こちらから



大井川の水資源は8市2町62万人の命と生活インフラを支えている。大井川用水は1968年に完成し、現在に至っている。維持していくのは現代を生きる私たちの使命である。62万人の貴重な財産。南アルプストンネル工事で水を失えば補償することなど決まてできない。1月24日「工事により、水利用への影響が生じた場合の対応に関する確認事項」の文書が取り交わされた。そのなかに費用補償を行うこととあるが、水の補償は水でなければならぬ。この確認事項は補償主眼であるが水ではなく金銭補償で済ませようとしている。工事着工後、岐阜県瑞浪市大湫町のように水枯れが起きたならば62万人の生死に関わる大問題である。金銭補償などで済む問題ではない。いかにして水問題にならないか調査・研究し、1%の危険性でもあれば英断を下さなければならぬ。

Q 市長は水が枯れた場合、



市民への補償はできるか。

A 補償については、事業者であるJR東海が責任を持って対応する必要はある。国には流域地域の声を受け止め、しっかりと関与していただけたらと考えている。

Q 「水利用への影響が生じた場合の措置」はどうか。

A 工事期間中・工事後も含めて、現在の水量と水質が恒久的に確保される必要があることを訴えてきた。この地域に住み続けるためには水は必要のため、代替についても水で返してもらおう必要があると考えている。

議会豆知識

「与党・野党」

国会では「与党・野党」がはっきり分かれていますが、市議会では明確な与党・野党がないことが多いです。

議員はそれぞれの考え方で会派（グループ）をつくっています。菊川市においては、5月1日現在、会派が3つ、会派に属さない議員が3名の構成となっています。

また、同じ会派でも案件ごとに賛成・反対が分かれ意見が異なることもあります。菊川市議会でも、予算や施設整備に関する議案などで意見が分かれることがあります。（定例会審議結果参照）

つまり、国会のように立場で決まるのではなく、中身で判断するのが市議会の特徴です。



《皆さまの声を聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想やご意見をお寄せください。

もれなく菊川市議会特製
“きくのんクリアファイル”
をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内 61 番地

*議会への要望や意見なども受け付けています。
*クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。

メール送信は
こちらのQRコードを
読み取ると
便利です。



投稿者より

恥ずかしながら、難しく
そうだと思いますが、読んで
みるととても分かりやすい構成でした。子
育て関連についても多く書かれており、ま
た次回からも楽しみにになりました。

傍聴者より

初めての傍聴でしたが、
参考になりました。JR
から新幹線までの道路整備は、防災も兼
ねて、ぜひ進めていただきたいです。将
来の子供たちが心穏やかで、安心して暮
らし、わがまちを自慢に思うようにまちづ
くりを魅力的に進めてほしいと願います。



きかせてパパママの声

Vol.41

菊川市に住むお父さん
お母さんに聞きました。



駅の北側に住んでいます。3月28日に新しい駅舎が完成し、南北自由通路を通して北側からも駅や南側に行けるようになったのでとても便利です。駅の北側が発展して、もっと住みやすいまちになると良いと思います。もう直ぐ二人目の子どもが生まれるので、駅の北側にも大きな公園ができて、休日に親子で遊んだり、食事をしたりして過ごせるところがあるといいなと思います。これからも、若い世代からお年寄りまで、みんなが安心して楽しく暮らせるまちづくりをお願いします。

奈良間 将甫さん・真衣さん

6月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

6月	
1日(月)	議案の提案説明
2日(火)	議案の提案説明(前日の続き)
8日(月)	一般質問
9日(火)	
12日(金)	質疑・討論・採決・委員会付託
24日(水)	委員長報告・質疑・討論・採決
25日(木)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご連絡ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

編集後記

令和8年度最初の「議会のひろば」をお届けします。今号には、2月定例会の内容のほか、議会報告会やこども議会のご案内も掲載しています。議会は少しかたく感じられるかもしれませんが、日々の暮らしや子育て、地域の安心にもつながる大切なことが話し合われています。議会だよりを通し、少しでも身近に感じていただけたらうれしいです。これからも、市民の皆さまにとって読みやすい紙面を目指してまいります。

(編集委員 松永 晴香)

次回の議会のひろばは

8月発行予定です。

(年4回発行)
お楽しみに!



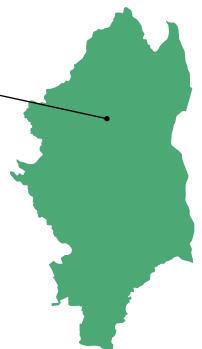
表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

菊川中央公園茶畑
新茶摘み体験

菊川市茶業協会撮影

撮影地: 菊川市本所



【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています!



ダウンロードはこちら

マチイロ



処分するときは雑がみとしてリサイクルを!

© 菊川市

